

# 指定管理評価表(北図書館)

平成31年3月31日現在

<b>施設概要</b>	・尼崎市立北図書館(尼崎市南武庫之荘3-21-21) ・開館時間:火曜から土曜 9:00~20:00 日曜・祝日 9:00~17:15 ・施設設置目的:生涯学習の推進・子どもの読書活動の推進 ・事業内容:図書、記録その他必要な資料の収集、整理、保存及びそれらの一般公衆への提供等			
<b>指定管理者の名称</b>	株式会社 図書館流通センター			
<b>指定期間</b>	平成28年4月1日～令和3年3月31日			
<b>業務概要</b>	・図書等の貸出、閲覧、読書案内 ・調査相談(レファレンス)業務、青少年室管理 ・読書活動推進に向けた各種行事(展示ほか)の実施			
<b>利用状況等</b>	項目名	平成30年度	平成29年度	平成28年度
	利用者数(貸出のみ)	169,061 人	171,400 人	147,143 人
	貸出冊数(団体含む)	605,620 冊	621,863 冊	609,394 冊
	行事開催数	139 回	147 回	140 回
	行事参加者数	6,421 人	5,321 人	6,096 人
<b>所管課・所管課長名</b>	教育委員会事務局社会教育部中央図書館・安福 真理子			
<b>評価対象期間</b>	平成30年4月1日～平成31年3月31日			

評価項目	説明	評価	評価コメント
<b>1 サービスの質の維持・向上</b>		<b>B</b>	ボランティアグループや地域の公共施設とよく協働して事業を実施し、参加者からは好評を得ている。 また、「聴こえ」に不自由を感じる利用者向けの機器の設置や、子育て応援を主眼とした発刊物の地域配布など、サービス向上及び施設利用者の掘り起こしに取り組んでいる。
自主事業・指定事業	計画に沿って、積極的に自主事業・指定事業に取り組んでいるか		
サービス向上	サービス向上の取組みがされているか		
施設利用者数	施設利用者の掘り起こしがされているか		
利用者要望の把握	利用者要望の把握がされているか		
事業計画性、透明性	事業が計画的に、かつ透明性を確保して実施されているか		
住民・利用者の参画	住民または利用者とのパートナーシップを推進しているか		
<b>2 適正な施設の管理</b>		<b>A</b>	老朽化の進行した施設にあって、設備の補修等を工夫しながら行っている。 館内整理の休館日を利用して、個人情報保護研修や救命研修、認知症サポーター養成講座など、各種の職員研修を適切に実施している。
施設保守・管理	施設の保守、管理が適正に実施されているか		
職員体制	合理的な配置か、責任体制が整った配置か		
危機管理	事故・緊急時の体制が十分に整備されているか		
個人情報管理	個人情報の管理が適正であるか		
職員研修	職員研修が十分に実施されているか		
<b>3 収支・経費節減</b>		<b>A</b>	インターネット回線料等の通信費の削減を行う工夫など、経費節減の取組みを継続して実行している。
収支状況	収支の状況が適正かつ良好であるか		
経費節減の取組	経費節減の取組みがされているか、		
<b>4 指定管理者の経営状況等</b>		<b>A</b>	適正な会計手続きが行われ、良好な経営状況にあるものと判断される。
会計状況	適正な会計手続きがなされているか(監査報告書等による)		
経営状況	経営状況は良好か(貸借対照表、損益計算書等による)		
<b>5 その他</b>		<b>A</b>	文書等について、社内監査を実施し、適切に管理している。また、内部評価を実施している。
文書等の管理	文書類、帳簿、備品、資料等が適切に管理されているか		
評価の実施	内部評価を実施しているか		

指定管理者選定に係る事業計画書の主な取組内容	左記に関する取組状況とその取組に対する評価
・市民から親しまれる図書館づくり ・児童サービスの充実 ・郷土に対する知識、愛着の醸成 ・ボランティアグループとの連携体制の構築 ・地域での生涯学習への参加	・図書展示やレイアウト変更等を柔軟に行い、より利用しやすい図書館づくりに取り組んでいる。 ・児童や親子対象の事業を実施し、託児サービスも行うなど、参加者から好評を得ている。 ・館報において市内の史跡等を紹介し、郷土に対する知識、愛着の醸成に努めている。 ・ボランティアグループと良好な関係を構築し、連携して事業を推進している。 ・近隣の公共施設との共催事業に取り組むと同時に、職場体験学習や実習生等を積極的に受け入れている。

総合評価	総合評価の理由、今後の課題等
<b>A</b>	サービス向上及び利用者の掘り起こしに取り組む、実施事業の参加者からは好評を得ているが、貸出冊数等の利用実績は天候等の影響もあり減少している。指定管理者は全国で多数の図書館業務を運営・受託しており、その情報網やノウハウを活かした発想と実行力に期待したい。 施設管理に関しては、老朽化の進行した施設において、安全性緊急性を勘案しながら必要な補修等を行っている。今後も新たな利用者の開拓に結び付く事業の実施及び市民サービスに努め、引き続き市民から親しまれる図書館運営を望むものである。

※ 評価は、A～Eの5段階評価とする。

※ 確認調査の結果をチェックリスト等に記入する。更に1～5の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。

※ A:非常に良好である又は非常に成果があった。 B:やや良好である又はやや成果があった。 C:取組状況の水準が普通である。

D:やや改善の余地があった。 E:多くの改善すべき点が見受けられる。